

# 令和2年東北地区高等学校野球宮城大会

1 回戦	石巻市民球場	2 時間	0 分		打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併		
仙台第一	0 0 0	0 1 0	0 0 0	0 1	【仙】	31	7	1	0	4	7	5	12	2	1	
小牛田農林	1 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0	【小】	29	3	0	0	3	0	8	4	1	2	
(13:57~14:27中断)																
(球) 沼辺力也 (一) 布田秀斗 (二) 吉田喜典 (三) 佐々木瞭太																
【仙】	篠村, 奥山		— 武藤		▽本塁打										なし	
【小】	喜世		— 今野友		▽三塁打										なし	
▽暴投 なし																
▽捕逸 今野友 (小)																
▽二塁打																
石川 (小) (仙) (小)																

**【評】**  
 両校の投手が息詰まる投手戦を繰り広げた。小牛田農林高は、初回無死1・3塁から、3番、喜世が併殺に倒れる間、3塁走者が生還し、先取点を挙げた。2回以後、両校の投手が好投し、無得点が続く中、5回表、仙台第一高は、2死1・2塁から4番三好の適時打により同点に追いついた。6回以後も両校の投手が要所を締め、9イニングスで決着が付かなかったため、今大会特別規定により、延長10回はタイブレークとなった。表の仙台第一高は、先頭打者こそ、強硬策が裏目に出て、併殺に倒れるも、残った3塁走者が、捕逸により生還し、勝ち越した。一方、裏の小牛田農林高は、先頭打者は、手堅く犠打し、チャンスを広げたものの、後続を絶たれ、雌雄を決することとなった。試合開始早々、降雨による中断が入るなど、難しさの絡んだゲームであったが、両校の技量の高さが大変光った。高校野球らしい好ゲームで

2 回戦	仙台市民球場	3 時間	4 分		打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併		
柴田農林	0 2 1	0 0 0	2 0 0	5	【柴】	34	8	5	1	1	5	8	8	7	1	
村田	2 0 4	2 1 2	0 0 ×	11	【村】	37	10	8	5	1	10	7	13	2	2	
(16:51~17:43中断)16:50点灯																
(球) 小倉貴仁 (一) 佐藤 圭 (二) 水戸恭平 (三) 佐藤拓哉																
【柴】	高橋, 井上, 赤間		— 三品		▽本塁打										なし	
【村】	新田, 丹野, 新田, 齋藤		— 小室		▽三塁打										小室, 丹野 (村田)	
▽暴投 井上1 (柴農), 丹野1 (村田), 齋藤1 (村田)																
▽捕逸 三品1 (柴農)																
▽二塁打																
加藤 三浦2 (柴) (村)																

**【評】**  
 大会初日第2試合、南部地区同士の対決は村田高校が勝利した。途中、雷・降雨のため52分間の中断もあったが、両校ともに集中力を切らさず死力を尽くして戦った姿が印象的だった。村田高校は1回裏、敵失の後、3番小室・4番三浦の連続適時打で2点を先制した。柴田農林は2回表、6番赤間からの3連打を生かしてすぐさま2点を返した。さらに3回表には2番佐々木からの2連打を生かして1点を追加したが、3回裏、村田の3番小室の三塁打が敵失を誘い、一挙にホームインしてから長短打を集め、4得点をあげて逆転した。その後、敵失などもあって、村田高校が追加点をあげた。柴田農林は7回表に2アウト走者なしから連続四球と3番高橋の適時打で2点を返して粘ったが及ばなかった。村田は主将で3番キャッチャーの小室が4安打3打点、3人の投手を盛り立て、攻守の要として活躍が光った。

2 回戦	鹿島台中央野球場	2 時間	40 分		打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併		
古川	0 0 0	1 0 0	0 0 0	0	【古】	31	4	0	2	3	2	8	7	1	0	
仙台向山	0 0 0	0 1 0	0 0 0	1×	【仙】	33	6	2	1	2	5	9	11	1	1	
( )																
(球) 手塚仁基 (一) 岩倉淑浩 (二) 山館浩樹 (三) 邊見豪志																
【古】	高橋涼, 高橋秀		— 齋藤, 高橋涼		▽本塁打										なし	
【仙】	木村郁		— 加藤		▽三塁打										木村郁1 (向山)	
▽暴投 木村郁1 (向山)																
▽捕逸 なし																
▽二塁打																
なし (古) (仙)																

**【評】**  
 先発した両投手の粘り強い投球によって、息の抜けない緊張感のある好ゲームが展開された。立ち上がりは向山が四球で出た走者を進めチャンスを作ったものの、決め手を欠き得点に至らなかった。中盤4回に安打で出たランナーを犠打で進めた古川が、暴投で先取点を挙げると、5回に向山も失策での走者を犠打で進めると、中軸がチャンスで長打を打ちすぐ追いついた。その後は、互いにチャンスを作ったものの、両先発投手の踏ん張り決め手を欠き、延長タイブレークとなった。10回表、バントで進めた古川がその後を断たれ、裏の向山はバントを決められなかったものの、再び中軸の長打が出て試合を決めた。

2 回戦	平成の森しおかぜ球場	2 時間	21 分		打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併		
気仙沼向洋	1 0 1	0 1 0	0 5 1	9	【気】	38	14	8	9	2	5	4	9	0	0	
泉	3 0 0	0 0 0	0 0 0	3	【泉】	34	7	3	0	0	1	9	5	1	1	
( )																
(球) 高橋正博 (一) 阿部徳太郎 (二) 山田裕之 (三) 飯塚文彦																
【気】	吉田凱		— 伊藤遥		▽本塁打										なし	
【泉】	堀井, 松田, 熊谷優		— 高橋滉		▽三塁打										千田 (気)	
▽暴投 堀井3 (泉)																
▽捕逸 なし																
▽二塁打																
佐々木 (気) (泉)																
なし (泉)																

**【評】**  
 平成の森野球場の開幕戦は両チームの点の取り合いで始まった。1回の表、気仙沼向洋高校は二死三塁から四番千田のレフトオーバーの3塁打で先制する。泉高校は直後の1回の裏、1番松田、5番熊谷優、6番作田がヒットを打ち、3点を奪い逆転に成功する。その後、気仙沼向洋打線は泉のエース堀井を攻め、3回は吉田凱、5回には佐々木二塁打で同点とすると、8回に一挙5点を奪い勝ち越しに成功する。泉打線は尻上がりに調子を上げた気仙沼向洋のエース吉田凱を打ち崩せなかった。吉田凱は2回以降3塁を踏ませない投球で9回を完投し、気仙沼向洋高校が勝利を手にした。

宮城県高等学校野球連盟

2回戦		平成の森しおかぜ球場		1 時間 47 分				打安点盗犠四三残失併	
仙 台 西	0 0 0	0 0 0	0	0	0	0	0	【仙】	25 5 0 0 1 0 11 5 0 0
東 陵	5 0 0	2 0 0	×					【東】	22 5 7 2 1 10 2 8 0 0
(球) 菅原 幸 (一) 高橋弥寿仁 (二) 遊佐敏彦 (三) 内海秀幸						▽本塁打		大沼 (東)	
【仙】 鈴木, 長谷部 — 高部						▽三塁打		穴戸 (東)	
【東】 佐藤柳, 小野寺優, 佐々木諒 — 大沼						▽二塁打		なし (仙) 平間 (東)	
▽暴投 鈴木 (仙)						▽捕逸 なし			

【評】

東陵は初回3番穴戸が右中間に3塁打を放つと、続く4番大沼が左翼に2ランホームランで先制した。東陵はこの回に一挙5点をもぎ取り仙台西を突き放した。仙台西投手鈴木は4回に制球が乱れ、犠打と押し出しで2点を与えてしまった。7回表に2死満塁まで粘った仙台西打線だったが、惜しくも届かなかった。

2回戦		仙台市民球場		2 時間 21 分				打安点盗犠四三残失併	
東 北 学 院	0 0 2	2 1 0	0	0	2	7	7	【東】	34 12 7 0 4 6 2 10 2 1
宮 城 農 業	0 0 4	0 0 0	2	0	0	6	6	【宮】	34 7 6 0 1 4 9 6 1 2
(球) 布田秀斗 (一) 雁部博昭 (二) 森山宏則 (三) 手塚仁基						▽本塁打		なし	
【東】 井上, 伊東 — 上田						▽三塁打		門間 (学院), 佐藤翔 (宮農)	
【宮】 及川, 野口 — 松井						▽二塁打		門間, 郡山 (東) 野口 (宮)	
▽暴投 井上1 (学院)						▽捕逸 上田1 (学院)			

【評】

降雨の厳しいグラウンドコンディションではあったが、1点を争う接戦となった。東北学院は3回死球で出塁した武田を3番渡邊がライト方向へのヒットで先制し、続く郡山、上田のヒットで2点を取った。その裏宮城農は敵失と死球で出塁したランナーを4番佐藤翔馬の右中間への3塁打で逆転した。東北学院は4回2点5回1点で逆転すると、宮城農は7回に単打を重ねて再度逆転した。最終回東北学院は先頭坂下が敵失で出塁し、4番郡山と5番上田が四球で1死満塁の場面で、6番途中から投手で入った伊東大夢が左前ヒットで2点をもぎ取り宮城農を突き放した。好機を生かし効果的に得点を重ねた宮城農業だったが、8回から登板した伊東からヒットを奪うことはできなかった。

2回戦		石巻市民球場		2 時間 5 分				打安点盗犠四三残失併	
東 北 高 校	2 1 0	2 0 0	4			9	9	【東】	23 9 8 0 5 11 7 9 1 2
生 文 大 高	0 0 0	0 0 1	1			2	2	【生】	26 8 2 0 2 3 4 8 1 0
(球) 三浦 徹 (一) 太田博昭 (二) 野田 学 (三) 黒沼 修						▽本塁打		小熊 (東), 吉岡 (生)	
【東】 小野寺, 岩崎 — 佐藤						▽三塁打		なし	
【生】 大槻, 櫻井, 佐藤, 奥野, 岩本 — 木皿						▽二塁打		佐藤, 小熊 (東) 大槻, 山岸 (生)	
▽暴投 奥野1 (生)						▽捕逸 木皿2 (生)			

【評】

東北高校が7回コールドで東北生文大高を退けた。途中雨天による1時間の中断があったが、集中力が途切れることなく終始攻め続けた。初回、先頭・門野のレフト前ヒットをから4番・佐藤のタイムリー二塁打で先制。中盤は四死球をきっかけに犠飛で追加点をあげ、7回表には連打から5番・小熊の右中間への本塁打で突き放した。東北生文大高は、8本のヒットを放ったが8番・山岸のタイムリー二塁打と3番・吉岡の左中間への本塁打の2点どまりだった。

2回戦		石巻市民球場		2 時間 5 分				打安点盗犠四三残失併	
登 米	2 2 1	0 1 1	0	0	0	7	7	【登】	39 10 5 6 1 4 12 10 2 2
白 石	0 1 1	0 1 0	0	0	0	3	3	【白】	31 6 2 1 2 1 6 4 4 0
(球) 水戸恭平 (一) 島貫行男 (二) 沼辺力也 (三) 佐藤 学						▽本塁打		なし	
【登】 三田 — 今野						▽三塁打		内海 (登), 安住 (白)	
【白】 安住 — 杉内						▽二塁打		佐藤健 (登) なし (白)	
▽暴投 安住2 (白)						▽捕逸 杉内2 (白)			

【評】

登米が着実に得点をあげ初戦を突破した。先発の安住は前半に安打を許すも、6回以降ノーヒットの好投を見せた。攻撃では6回までに長打での加点や、相手のエラーを逃すことなく得点に結びつけた。7回まで毎回安打を出し、終始攻め続け白石の主戦三田を苦しめた。また、9番内海の3塁打など、層の厚さを見せつけた。白石も負けじと長打やエラーで得点を積み重ねたが、後半は3者凡退が続き好機を作ることができなかった。主戦三田も12三振と気を吐く投球を見せたが、力及ばず敗戦となった。

2回戦	仙台市民球場	3時間 4分																		
東北学院	榴ケ岡	0 1 1	5 0 0	0 0 0	0 0 0															
古川学園		1 0 5	0 1 1	0 1 X																
(球)	三浦 徹	(一)	伊藤誠喜	(二)	武田 徹	(三)	鎌田卓郎													
【東】	日ヶ久保, 柳田	—	小笠原																	
【古】	鈴木統, 志賀	—	入駒, 小川																	
▽暴投	日ヶ久保(榴)		鈴木統, 志賀(古)																	

【評】  
榴ケ岡に1点のリードを許した古川学園は、3回裏に2安打と死球で一死満塁の好機に、6番早川が右越え二塁打で2点。暴投と9番村上の右越え二塁打で3点を加え逆転した。しかし、榴ケ岡は4回表に救援志賀から3安打と4番小笠原の左二塁打と2敵失に乗じて5点を奪い逆転し、勝利の行方は定まらない。古川学園は、5回裏に四球と7番志賀の左二塁打、8番近藤の中犠飛で同点にし、6回裏には先頭2番菊地の左二塁打と安打四球を絡めて再逆転し、試合を決めた。終盤榴ケ岡打線は、立ち直った志賀の前に沈黙した。

2回戦	仙台市民球場	1時間 58分																		
白石工業		2 0 0	0 0 0	0																
石巻工業		0 2 2	0 3 2	X																
(球)	毛利 晃	(一)	菅原勝敏	(二)	小松宗夫	(三)	佐藤亮樹													
【白】	小野	—	高橋																	
【石】	佐藤, 岩槻	—	和田																	
▽暴投	小野2(白)																			

【評】  
自慢の長打力で石巻工業がコールド勝ちした。先制したのは白石工業。相手の野選で好機を広げると四番佐久間の右前適時打で2点を先制。しかし、その後は石工佐藤朋のキレのあるスライダーと力強いストレートに抑えられた。佐藤の好投でリズムを作った石巻工業は2回8番高橋の適時二塁打と暴投で同点に追いつくと、6本の長打を含む12安打で確実に加点し、勝負を決めた。昨秋ベスト8の白石工業は、4つの失策でリズムに乗れなかった。

2回戦	石巻市民球場	1時間 23分																		
佐沼		1 0 0	0 2 9																	
浦谷		0 0 0	0 0 0																	
(球)	山館浩樹	(一)	安部吉彦	(二)	黒沼 修	(三)	森山行輝													
【佐】	菅原, 大友	—	首藤																	
【浦】	齋藤大	—	佐藤慎																	
▽暴投	なし																			

【評】  
佐沼が12対0の6回コールドで浦谷に快勝した。1回の表、2番・及川の三塁打から先制点を挙げ、5回には相手の失策から2点を追加し、6回は小技を使わず積極的に打って出て長短7安打を集中し、一挙9得点を挙げて試合を決定づけた。主戦・菅原は球威、制球とも抜群で5回までに奪三振13個とつけ入る隙を与えなかった。一方浦谷は1安打と振るわず、主戦・齋藤大樹が根気強く投げたが、5失策もあり佐沼打線の勢いを止めることができなかった。

2回戦	石巻市民球場	2時間 32分																		
築館		0 3 0	0 2 0	1 0 2																
古川黎明		1 0 1	1 0 0	0 0 2																
(球)	鶴田代志昭	(一)	石川英孝	(二)	布田秀斗	(三)	沼辺力也													
【築】	及川, 高橋, 川田	—	川田, 渡邊																	
【古】	石山, 齋藤, 坂野, 田中, 目々澤	—	齋藤, 石山, 齋藤																	
▽暴投	及川(築), 齋藤, 坂野2(古)																			

【評】  
同地区対決となったこの試合は、小刻みに得点を重ねた築館が勝利した。3対3の同点で迎えた5回表、築館は1死から2番の千葉大地が3塁打を放つと、3番千葉凛のセンター前タイムリーで勝ち越しに成功。さらにこの回1点を加え突き放した。築館は7回・9回にも追加点を重ね試合を決めた。古川黎明は5回以降チャンスを作ったが、攻めきれず、最終回に2点を奪い、意地を見せたが及ばなかった。

宮城県高等学校野球連盟

2回戦	石巻市民球場	3 時間 6 分																		
大崎中央	5 3 0	0 0 1	0 4 0	13	【大】	36	12	12	4	2	11	7	9	3	1					
松島	0 0 1	5 0 3	0 0 0	9	【松】	39	13	9	0	1	3	10	7	3	2					
(球)	黒沼 修 (一) 米谷正信 (二) 高橋弥寿仁 (三) 佐々木瞭太					▽本塁打														
【大】	村山, 齊藤, 氏家	—	佐藤駿			▽三塁打														
【松】	三上, 永野, 須藤	—	佐藤, 早坂			▽二塁打														
▽暴投	永野1, 須藤1(松)		▽捕逸 なし																	

【評】  
 両チーム合わせて25安打を放つ乱打戦となった。序盤ペースをつかんだのは大崎中央で、初回、失策と四球でためたランナーを下位打線の2本の適時打で返し、5点を先制した。2回にも4番遠山のHRで3点を加えた。ここから松島高校がリリースした永野投手の好投もあり流れをつかみ、3回から得点を重ね6回には9対9と試合を振り出しに戻した。最後は大崎中央が3番手氏家投手の踏ん張りや上位打線の長打で松島を突き放し、勝負を決めた。

2回戦	石巻市民球場	1 時間 45 分																		
仙台南	1 0 0	3 3 3	10	【仙】	29	11	8	5	1	9	5	11	0	1						
三校連合	0 0 0	0 0 0	0	【三】	20	3	0	1	0	0	7	2	1	0						
(球)	沼辺力也 (一) 高橋弥寿仁 (二) 安部吉彦 (三) 邊見豪志					▽本塁打														
【仙】	高木	—	三田村			▽三塁打														
【三】	佐藤, 千葉蒼, 及川	—	松浦			▽二塁打														
▽暴投	高木1(仙台南)		▽捕逸 松浦1(三校連合)																	

【評】  
 仙台南高校が10対0(6回コールド)で圧勝した。仙台南は初回先頭打者の中澤が右中間三塁打を放ち続く成澤が中前打で先制点を挙げた。その後は三校連合先発の佐藤慶の巧みな投球術で追加点を挙げることができず攻めあぐねた。しかし、4回に四球からチャンスを広げると4回、5回、6回と3点ずつ追加点を挙げ一気に三校連合を突き放した。三校連合は2回に5番千葉蒼の安打で出塁すると、盗塁と暴投で三塁まで走者を進めたが、後続が倒れ得点機を逃した。5回には谷津と相馬の連打でチャンスを広げたが、後続が倒れ得点には至らなかった。仙台南の主戦佐藤はカーブと力のあるストレートを低めに集め3安打7奪三振で完封した。

2回戦	仙台市民球場	2 時間 28 分																		
仙台東	1 6 0	2 3 4	16	【仙】	38	19	14	2	3	8	6	12	3	0						
名取	0 0 3	0 4 0	8	【名】	30	10	8	0	1	4	5	6	3	1						
(球)	野田 学 (一) 武田 徹 (二) 新野祥平 (三) 島田翔平					▽本塁打														
【仙】	佐藤辰	—	佐々木			▽三塁打														
【名】	荒川, 堀籠, 佐藤和	—	内海			▽二塁打														
▽暴投	佐藤辰1(仙台東), 堀籠1(名取)		▽捕逸 なし																	

【評】  
 1回に1点先制した仙台東は、2回3番佐藤海の中二塁打と5番杉山の右中間三塁打等で一举6点を挙げ、序盤で試合の主導権を握った。4回にも先頭の佐藤海の左越え三塁打、4番安田の左適時打で加点。5回は安田の左中間二塁打と相手投手の制球の乱れに乗じてさらに3点。6回は1番鹿志村の右二塁打、安田の犠飛、代打金澤の右中間二塁打等で4点を加えた。19安打16点の猛攻であった。名取は、3回に1番小松原の右中間二塁打、2番荒川の右前安打で3点。5回に7番佐藤和の中前安打、5番武田の左前安打等で4点奪取。7回に3番内海の中前安打で1点返すも及ばなかった。

2回戦	仙台市民球場	1 時間 30 分																		
黒川	4 6 4	1 0	15	【黒】	28	13	13	2	1	9	1	8	0	1						
亘理	0 0 0	0 0	0	【亘】	18	4	0	2	0	2	4	5	3	0						
(球)	細川和行 (一) 鴫田代志昭 (二) 山館浩樹 (三) 毛利 晃					▽本塁打														
【黒】	松村, 伊藤	—	福島			▽三塁打														
【亘】	竹林, 瀬戸川, 及川	—	菊地			▽二塁打														
▽暴投	及川1(亘理)		▽捕逸 なし																	

【評】  
 黒川高が投打に亘理高を圧倒した。黒川高の打線は初回に3本の長短打と相手の失策も絡み4得点。続く2回にも四球や4安打で6点を追加し、序盤で主導権を握った。その後も攻撃の手を緩めず4回までに13安打15得点、投げてはエースの松村が4回まで相手打線を散發2安打に抑え、5回にリリースした伊藤もピンチはあったものの無失点に切り抜け、5回コールドで初戦を飾った。一方の亘理高は、初回に2つの失策、2回には2つの押し出しを含む4四球を与えるなど立ち上がりからリズムを作れず悔しい結果となった。

宮城県高等学校野球連盟

2回戦	石巻市民球場	1時間 32分																			
塩釜	0 0 2 0 0																				
仙台育英	1 3 5 6 X																				
(球)	雁部博昭 (一) 鴫田代志昭 (二) 佐藤 圭 (三) 小松宗夫																				
【塩釜】	齊藤	—	大場																		
【仙台】	尾形, 粕谷	—	小野寺, 吉原																		
▽暴投	なし																				

【評】

第一シード仙台育英と塩釜の一戦。仙台育英は一回裏一死から2番宮本の中前二塁打、3番佐々木の左中間三塁打で先制。4-0でむかえた3回裏には塩釜の主戦斎藤を攻め4本の長短打と3四死球で5点を挙げた。その後の4回裏にも6点を挙げ、13安打15得点の5回コールドで勝利した。塩釜は3回表に仙台育英の先発尾形の制球が乱れたところを攻め一死満塁の好機をつくると3番寺澤の二ゴロ間と、4番大場の左前適時打で2点を返して反撃ムードをつくったが力及ばず敗戦となった。

2回戦	石巻市民球場	1時間 32分																			
響・宮水	0 0 0 0 0 0																				
仙台南	0 2 2 3 0 3X																				
(球)	加藤修一 (一) 阿部徳太郎 (二) 高橋正博 (三) 小林良守																				
【響】	村上	—	阿部																		
【仙】	阿部侖	—	石川																		
▽暴投	村上2(響・水)																				

【評】

第3シード仙台南と本吉響・宮城水産連合チームの一戦。仙台南は2回裏二死2・3塁から1番川村の中前打で2点先制。3回裏には連合チームの守備の乱れについて2点を加え、4回裏には4番高橋の左越3ランが試合の流れを決めた。その後の6回裏に3点を挙げ、15安打10得点の6回コールドで勝利した。先発の阿部侖は6回を投げ2安打、無四死球で無失点と好投した。本吉響・宮城水産連合チームは、2回表に6番菅原、7番阿部の連打で二死1・2塁の好機をつくったが得点はならなかった。試合序盤には、主戦村上が粘り強い投球で試合をつくったが、力及ばず敗戦となった。

2回戦	仙台市民球場	2時間 6分																			
仙三	2 1 0 0 0 0																				
聖和学園	1 0 0 0 0 4																				
(球)	大槻充夫 (一) 高橋 勝 (二) 野田 学 (三) 長谷川鴻ノ介																				
【仙】	小野, 千葉康	—	千葉陽																		
【聖】	丹野, 小林	—	畠山																		
▽暴投	小野1(仙三)																				

【評】

仙三は初回1死から4連打で2点を先制。2回も2連打と犠飛で1点を追加した。聖和学園も1回裏に先頭打者庄司の先頭打者本塁打で1点を返した。その後はお互いチャンスらしいチャンスもなく、無得点が続き迎えた6回裏、ヒットと四球等で1点を返しなお満塁で、8番長谷川がフルカウントから真ん中高めに入ったフォークボールをとらえ、走者一掃の左越二塁打で一気に試合をひっくり返した。仙三は3回から登板した聖和学園2番手の小林の伸びのある直球に、散發2安打、8奪三振に抑えられ2塁すら踏めず敗退した。

2回戦	仙台市民球場	1時間 33分																			
仙商業	3 1 1 5 4																				
加美農業	1 0 0 0 0																				
(球)	佐藤拓哉 (一) 細川和行 (二) 浅野卓也 (三) 島田翔平																				
【仙】	宮澤, 平片	—	大和田																		
【加】	桑島, 氏家, 桑島	—	小幡																		
▽暴投	氏家1(加美農業)																				

【評】

仙商業は16安打の猛攻で、加美農業の先発桑島二番手氏家の二投手を打ち崩し圧倒、5回コールドで勝利した。仙商業は、1回に4番千葉の右三塁打と6番伊東の左二塁打で3点先制し、4回には3番濱田の中前安打で1点、6番伊東7番宮澤の連打で4点あげるなど毎回得点し、14点を積み重ねた。先発宮澤は、初回バークで失点したが、その後は5奪三振と好投、救援平片は、2回無安打4奪三振と試合を締めた。加美農業は、1番鈴木健人が2打数2安打1盗塁と、1番打者らしい活躍を見せたが、力及ばず涙を飲んだ。

宮城県高等学校野球連盟

2回戦		平成の森しおかぜ球場		1時間 40分				打安点盗犠四三残失併											
志・北	連合	1	0	0	0	0	0	1	【志】	17	3	1	1	0	6	7	7	2	0
登米	総産	5	3	6	2	×		16	【登】	24	12	14	6	2	7	2	5	0	1
(球) 三浦 徹 (一) 米谷正信 (二) 佐々木勝弘 (三) 津久家敏彦										▽本塁打		なし							
【志】 氏家, 久保田, 小野										▽三塁打		松浦大, 菅原, 佐々木大(登)							
【登】 千葉, 山田, 阿部透										▽二塁打		なし (志)							
▽暴投 久保田1(志北), 山田1(登)										▽捕逸		阿部1(志北), 松浦大1(登)							

【評】

初回、志津川・石巻北高は、登米総産高の投手千葉の立ち上がりの制球の乱れをつき志津川高の上位打線のつながりで先制点を挙げた。その裏、登米総産高も3・4番の長打ですぐに逆転に成功し、2回以降でも長・短打で加点し大きくリードした。志津川・石巻北は2回以降の攻撃で走者を出すものの、打線がつながらず得点に結びつかなかった。

2回戦		平成の森しおかぜ球場		2時間 0分				打安点盗犠四三残失併											
石巻	西	1	0	0	0	0	0	1	【石】	25	6	1	0	7	2	5	6	2	0
泉	館山	0	0	0	0	1	0	3	【泉】	27	6	2	3	3	3	11	6	0	0
(球) 黒沼 修 (一) 石川英孝 (二) 松浦茂樹 (三) 菅原 紀雄										▽本塁打		なし							
【石】 石川										▽三塁打		永沼(石), 西塚(泉)							
【泉】 谷口										▽二塁打		なし (石)							
▽暴投 なし										▽捕逸		なし (泉)							

【評】

1回表、石巻西高校の1番打者・永沼が三塁打で出塁すると、2番阿部がタイムリーヒットを打ち、先制した。その後、5回裏に泉館山の7番谷口が四球で出塁すると、7番伊藤の犠打、1番の高橋のタイムリーで同点とした。8回裏には、四球や失策が重なってしまったものの、全体的に泉館山の谷口投手と石巻西の石川投手の要所を締めた素晴らしい投手戦となった。

2回戦		鹿島台中央野球場		1時間 42分				打安点盗犠四三残失併											
古川	工業	4	0	4	0	0	1	9	【古】	26	9	9	1	5	5	4	6	0	0
名取	北	0	0	0	0	0	0	0	【名】	22	3	0	0	2	3	6	6	2	0
(球) 太田博昭 (一) 吉田喜典 (二) 山田裕之 (三) 相澤大樹										▽本塁打		なし							
【古】 岩崎, 小関										▽三塁打		小川(古)							
【名】 本郷, 池原										▽二塁打		佐々木俊, 佐々木佑, 高橋凌 (古)							
▽暴投 なし										▽捕逸		桐越(名)							

【評】

第4シード古川工が投打で名取北を圧倒し、7回コールドで勝利した。古川工は、初回から5番佐々木俊の適時二塁打を含む4連打で4点をあげた。3回には名取北の失策も絡んで1死満塁となり、8番小川の走者一掃の適時三塁打で3点を追加し、点差を広げた。名取北は、古川工の先発岩崎から毎回出塁し、3回と5回には1死二塁の好機もつくったが、それを生かせなかった。本郷から代わった名取北の投手池原も、古川工を4回1失点と好投したが、岩崎から代わった投手小関に、名取北打線は2回5三振と抑えられた。

2回戦		鹿島台中央野球場		2時間 23分				打安点盗犠四三残失併											
仙台	第二	0	0	4	0	0	0	5	【仙】	35	8	5	0	0	8	9	11	2	0
仙	台	0	0	0	0	4	0	6	【仙】	28	9	5	0	3	6	3	7	1	1
(球) 布田秀斗 (一) 菅原 幸 (二) 藤村一也 (三) 小倉貴仁										▽本塁打		なし							
【仙】 両国, 小野寺, 佐藤										▽三塁打		酒井(仙二)							
【仙】 鎌田										▽二塁打		なし (仙)							
▽暴投 両国(仙二), 鎌田(仙) 3										▽捕逸		なし (仙)							

【評】

テンポの良い投手戦で序盤は進んだが、3回表に仙台二が佐藤活の2点適時打などの連打で4点を先制した。仙台は、5回裏3四死球を活かし、4点を挙げ同点とした。8回裏に仙台が適時打と犠飛で2点を挙げ、9回表に1点を返しなお2死満塁と追いつがる仙台二を振り切って接戦をものにした。仙台の主戦鎌田は、161球の粘り強い投球で要所を抑え、主導権を渡さなかった。最後まで目が離せない好試合であった。

宮城県高等学校野球連盟

2回戦		平成の森しおかぜ球場			2時間 37分																				
気仙沼	0	0	4	0	2	0	1	1	2				10	【気】	39	13	10	1	1	10	5	13	2	0	
石巻商業	2	0	0	0	0	0	0	0	1				3	【石】	32	6	3	1	2	5	3	9	2	1	
(球) 手塚仁基 (一) 遠藤 玲 (二) 新田健治 (三) 安部吉彦													▽本塁打		なし										
【気】 岩淵, 佐藤太 — 佐藤快													▽三塁打		遠藤(気), 小野寺(石)										
【石】 木村遼, 新田, 木村遼 — 今野優													▽二塁打		佐々木2, 茂木 (気) なし (石)										
▽暴投 なし															▽捕逸 なし										

【評】  
気仙沼高校が13安打を放ち、快勝した。3回表に四球とエラーから長短打を含め4得点、その後も着実に加点し、試合の流れを決定づけた。石巻商業は、初回到2四球から連打で2得点を挙げたが、その後なかなかチャンスを得られず、最終回到1点返したものの敗れた。

2回戦		平成の森しおかぜ球場			2時間 5分																				
宮城広瀬	0	0	0	0	0	0	0	0				0	【宮】	25	3	0	1	1	3	3	5	0	0		
石巻	1	1	0	2	1	1	0	1x	(8回コールド)			7	【石】	28	11	7	0	4	3	3	6	1	0		
(球) 沼辺力也 (一) 本田恵一 (二) 佐々木勝弘 (三) 佐藤 学													▽本塁打		武田康汰2(石)										
【宮】 清水, 八鍬 — 福田													▽三塁打		なし										
【石】 本木 — 阿部													▽二塁打		なし (宮) 齋藤 (石)										
▽暴投 清水1(宮)															▽捕逸 なし										

【評】  
石巻高校が宮城広瀬高校を7対0(8回コールド)で下した。石巻高校は初回1番齊藤がピッチャー強襲安打で出塁し、2番本木が送り、3番木村が中前安打。続く4番小野寺のレフトへの犠飛により先制した。その後2回裏には、8番武田の左翼への大会9号本塁打、さらに4回には同打者による2打席連続となる大会第11号の左翼へのツーラン本塁打により4点差と引き離れた。5回と6回にも1点ずつ追加点を重ね、8回には四球と2安打により7点目を挙げコールドゲームとした。宮城広瀬高校は7回到3塁まで走者を進めたがチャンスを潰した。石巻高校の投手本木の前に散発3安打無得点に封じられた。

2回戦		石巻市民球場			2時間 37分																				
迫桜	2	0	0	0	0	1	0	0	2				5	【迫】	34	6	3	3	1	8	7	11	0	0	
仙台工業	0	0	2	2	0	1	0	1	x				6	【仙】	30	10	6	2	4	7	3	11	3	0	
(球) 毛利 晃 (一) 佐藤拓哉 (二) 内海秀幸 (三) 遊佐敏彦													▽本塁打		なし										
【迫】 岩淵, 菅原礼 — 佐々木													▽三塁打		菅谷, 荒川(仙)										
【仙】 米山, 伊藤, 遠藤 — 今村													▽二塁打		なし (迫) 荒川, 櫻井, 菅谷 (仙)										
▽暴投 なし															▽捕逸 今村1(仙)										

【評】  
仙台工が6対5で接戦を制した。3回裏、2番・菅谷の三塁打から3番・荒川の二塁打と後続の内野ゴロの間に追いつき、4回以降は四死球で得たチャンスから、タイムリーヒットや犠飛で着実に得点を重ねていった。特に4番・今村は3打点と大いに勝利に貢献した。守りでは失策が失点に絡んだが、3投手の継投で何とか逃げ切った。迫桜は初回、四球とエラーから2点を先制。最終回到1番・高橋の強襲ヒットをきっかけに四死球や相手エラーの好機を活かし、1点差まで追い上げたがあと一本が出なかった。制球に苦しみながら岩淵・菅原と継投して根気強く守り、最終回の攻撃に繋がった。

2回戦		石巻市民球場			2時間 3分																				
富谷	1	1	0	2	0	0	0	0	0				4	【富】	31	8	4	0	1	4	1	5	3	1	
仙台高専名取	0	0	2	1	2	0	0	0	x				5	【仙】	32	10	3	1	2	1	6	6	1	3	
(球) 森山宏則 (一) 武田 徹 (二) 高橋弥寿仁 (三) 梅津交則													▽本塁打		藤田(富)										
【富】 早坂哲 — 藤田													▽三塁打		早坂哲(富), 川野(仙)										
【仙】 川野, 増田 — 佐藤													▽二塁打		なし (富) なし (仙)										
▽暴投 なし															▽捕逸 なし										

【評】  
4対5で仙台高専名取が接戦を制した。4対3で富谷がリードする5回裏9番齋藤が左翼手前に安打、1番川野が中堅手飛打で1死、2番江川が中堅手前安打、投手にバント安打。1死満塁の場面、4番ショートゴロで1塁走者が封殺、併殺を狙い2塁手が1塁へ送球する際に1塁走者と交錯した。交錯した二塁手の送球が1塁への悪送球となり、三塁走者が本塁へと生還した。これが決勝点となり、4対5で仙台高専名取が制した。

宮城県高等学校野球連盟

2回戦	仙台市民球場	2時間 26分																		
柴田	3 1 0	5 0 0	0																	
日本ウェルネス	0 0 0	0 0 0	0																	
				( 7回コールド )																
(球)	小松宗夫 (一) 平岡 勲 (二) 山下大輔 (三) 新野祥平																			
【柴】	佐々木, 森谷	—	阿部翔, 結城																	
【日】	早坂, 西内, 菅井	—	高橋																	
▽暴投	西内1 (ウエル)			▽捕逸	なし															

【評】

柴田高校が大会初出場の日本ウェルネス宮城高校に快勝した。柴田高校は初回到相手の立ち上がりを攻めて、一番から三連打で2点を先取するとこの回にもう1点を追加。さらに2回にも1点、4回には4安打に相手の失策も絡んで一挙5点をあげ大きくリードを広げた。投げては、二投手のリレーで7回を無失点に抑えた。1年生のみで臨んだ新鋭のウェルネス宮城は、3番手で登板した左腕菅井が5回以降を相手に追加点を与えず、攻撃でも8安打を放つなど粘りを見せたが、決定打を欠き7回コールドでの悔しい敗戦となった。

2回戦	仙台市民球場	2時間 5分																		
大河原商業	2 0 0	0 0 0	0																	
角田	0 0 0	5 1 1	2X																	
				( 7回コールド )																
(球)	山館浩樹 (一) 佐藤正江 (二) 水戸恭平 (三) 三浦昌浩																			
【大】	森, 佐藤匠, 中村	—	佐藤快, 森																	
【角】	森, 佐藤	—	安藤																	
▽暴投	佐藤1 (角)			▽捕逸	なし															

【評】

1回表大商は1番佐藤が投ゴロ悪送球で出塁、4番森と5番中村の連続2塁打で2点を先制した。角田は2番手佐藤匠から5番森の四球と7番安藤の右前打を足掛かりに8番遠藤、9番伊藤、1番岡本の3連続3塁打で一挙に5点を奪い逆転した。角田は5回サードエラーと犠打と盗塁に捕手の3塁悪送球で1点、続く6回には2番信濃、3番太田の連続3塁打で1点を加え大商を突き放した。7回にはサードエラーと7番安藤の左前打と2つの盗塁を絡め1死2・3塁とし、8番遠藤の中前打で2者が生還し試合を決めた。角田はヒット9本のうち6本が3塁打という長打力が光った。

2回戦	鹿島台中央野球場	1時間 48分																		
泉松陵	1 0 6	3 10																		
鹿島台商業	0 0 0	0 0																		
				( 5回コールド )																
(球)	加藤修一 (一) 雁部博昭 (二) 熊谷勇也 (三) 深沢豊夫																			
【泉】	相澤	—	橋, 赤間																	
【鹿】	豊榮, 宮川, 小堤	—	小堤, 中西																	
▽暴投	豊榮1 (鹿)			▽捕逸	なし															

【評】

鹿島台商業豊榮、泉松陵相澤、両チームともに1年生投手の先発で試合が始まった。鹿島台商業豊榮は、初回の泉松陵打線に対して、四球で出したランナー3塁に置き暴投で1点を与えたものの、2回は3者退に抑えるなど、まずまずの立ち上がりであった。しかし、3回高めに浮いたところを泉松陵上位打線につかまり、4番黒崎のHRなどで6点を失うと、さらに鹿島台商業はリリーフ陣もつかまり、4回5回と大量失点を許した。一方、泉松陵先発相澤は、5回参考ながらノーヒット・ノーランに相手打線を抑える好投で、鹿島台商業に付け入る隙を与えなかった。

2回戦	鹿島台中央野球場	2時間 26分																		
中新田	0 0 1	0 0 0	1 0																	
利府	2 1 1	1 0 2	0 2X																	
				( 8回コールド )																
(球)	野田 学 (一) 菅原 久 (二) 西城皇祐 (三) 千葉裕介																			
【中】	杉木	—	宮東																	
【利】	長岡, 小野, 茂木	—	日野, 高橋元																	
▽暴投	杉木2 (中)			▽捕逸	なし															

【評】

利府の13安打の攻撃で、終始にわたり着実に加点していき、3投手の継投で8回コールドで勝利を収めた。利府は初回、1番・針生の中前安打から暴投と内野ゴロの間に2点を先制。また6回には、4番郷右近の犠飛と5番左前適時打で2点を追加し試合を決めた。一方、中新田は3回、2番吉岡の二塁打から4番宮東の中前適時打で1点を返したが、後続が続かなかった。